DocuPrint C3350

PCL エミュレーション設定ガイド

平成明朝体 ™W3、平成角ゴシック体 ™W5 は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。なお、フォントの一部には、弊社でデザインした外字を含みます。許可なく複製することはできません。

ご注意

①本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。

②本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。

③本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

④本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。

⑤本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。

また、安全法規制 (電波規制や材料規制など) は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

はじめに

このたびは本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書では、PCL5、PCL5e、PCL6 エミュレーションについて記載しています。

製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご使用いただくために、必要に応じて本書をお読みください。

本書の内容は、ご使用になる環境の基本的な知識や操作方法、および本機の基本操作を習得されていることを前提に説明しています。

富士ゼロックス株式会社

目次

マニュアル体系

本機に同梱されているマニュアル

セットアップガイド	本機の設置手順を説明しています。
知りたい、困ったにこたえる本	プリンターの基本的な使い方と、お客様からよくある質問を取り上げ、1 冊にまとめました。トラブルで困ったときの解決方法も紹介しています。また、オプションの増設システムメモリーやセキュリティ拡張キット、パラレルインターフェイスカード、ギガビットイーサネットカードの取り付け手順について説明しています。 このマニュアルで紹介しきれない内容や、もっと詳しい情報が知りたい場合は、『ユーザーズガイド』を参照してください。
ユーザーズガイド (PDF)	本機の設置が終わってから印刷するまでの準備、印刷機能の設定方法、操作パネルの仕様設定項目、トラブルの対処方法、および日常の管理について、説明しています。 ・ このマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。
マニュアル（HTML 文書）	プリンター環境の設定方法と、プリンタードライバー、およびソフトウエアのインストール方法について説明しています。 ・ このマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内に収録されています。
エミュレーション設定ガイド（PDF）（本書）	ART IV、ESC/P、PCL、PC-PR201H、HP-GL®、HP-GL/2® の各エミュレーションについて説明しています。（本書は、PCL エミュレーション設定ガイドについて説明しています。） ・ このマニュアルは、ドライバー CD キットの CD-ROM 内の機種固有マニュアルの中に収録されています。

オプション品に同梱されているマニュアル、購入するマニュアル

設置手順書	別売りのオプション品には、必要に応じて、設置手順書が同梱されています。
PostScript ユーザーズガイド（PDF）	PostScript® プリンターとして使用するための設定方法や、プリンタードライバーで設定できる項目を説明しています。 ・ このマニュアルは、PostScript ソフトウエアキットに同梱されている CD-ROM 内に収録されています。
商品マニュアル（必要に応じて購入してください）	プリンター（プロッター）制御言語のコマンドなどを説明したマニュアル（リファレンスマニュアル（ART IV 対応）など）です。

補足
・ PDF 文書を表示するには、お使いのコンピューターに Adobe® Reader® がインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、ドライバー CD キットの CD-ROM を使って、Adobe Reader をインストールしてください。

本書の使い方

本書の構成

本書は、以下の構成になっています。

1. エミュレーションを使用するには
   使用できるインターフェイスや、使用できるフォント、エミュレートするプリンターなどについて説明しています。

2. PCL モードの設定
   PCL エミュレーションを使用するための、プリンターでの設定について説明しています。

本書の表記

1. 本文中の「コンピューター」は、パーソナルコンピューターやワークステーションの総称です。

2. 本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。
   注記　注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
   補足　補足事項を記述しています。
   参照　参照先を記述しています。

3. 本文中では、次の記号を使用しています。
   参照「　」：参照先は、本書内です。
   参照『　』：参照先は、本書内ではなく、ほかのマニュアルです。
   [　] ：コンピューターやプリンター操作パネルのディスプレイに表示される項目を表します。また、プリンターから出力されるレポート / リスト名を表します。
   〈　〉：キーボード上のキーや、プリンターの操作パネル上のボタン、ランプなどを表します。
   ＞ ：操作パネルの仕様設定やメニューの階層を表します。
   例：プリントできます＞プリント言語の設定＞ PCL

4. 本文中では、PCL5 と PCL6 をまとめて PCL と表記しています。

1　　エミュレーションを使用するには

1.1　　エミュレーションについて

本機で使用できるプリント言語の PCL エミュレーションについて説明します。

プリントデータは、ある規則（文法）に従ったデータになっています。本機では、この規則（文法）をプリント言語といいます。

本機が対応しているプリント言語は、ページ単位にイメージを作るページ記述言語と、他社のプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることができるエミュレーションに分類できます。なお、他社のプリンターでの印刷結果に近い結果を得ることを、エミュレートするといいます。

エミュレーションモード

本機が対応するページ記述言語以外のデータを印刷するときは、本機をエミュレーションモードにします。本機には、複数のエミュレーションモードがあります。その中の PCL エミュレーションモードと、エミュレートするプリンターの対応は、次のとおりです。

エミュレーションモード	エミュレートするプリンター
PCL エミュレーションモード（PCL モード）	HP-CLJ5500

ホストインターフェイスとエミュレーション

ホストインターフェイスごとに、対応するプリント言語は異なります。PCL に対応しているホストインターフェイスは、次のとおりです。

- パラレルポート
- LPD ポート
- NetWare ポート
- SMB ポート
- IPP ポート
- USB ポート
- Port9100 ポート

プリント言語の切り替え

本機は、マルチエミュレーションに対応しています。このため、対応するプリント言語の切り替えができるようになっています。

対応するプリント言語を切り替える方法は、次のとおりです。

コマンド切り替え

対応するプリント言語を切り替えるコマンドを用意しています。本機は、コマンドを受け取ると、対応するプリント言語に切り替えます。

自動切り替え

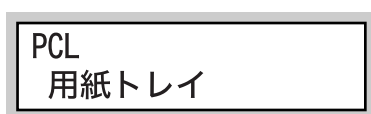
ホストインターフェイスが受信したデータを分析し、プリント言語を自動的に特定します。そして、対応するプリント言語に切り替えます。

インターフェイス従属

操作パネルを使って、ホストインターフェイスごとにプリント言語を設定します。データを受信したホストインターフェイスに合わせて、対応するプリント言語に切り替えます。

モードメニュー画面

エミュレーションモード固有の項目を設定する画面です。PCL のモードメニュー画面を表示するには、〈仕様設定〉ボタンを押し、[プリント言語の設定] で [PCL] を選択してください。PCL のモードメニュー画面の最初は、次の画面が表示されます。

```
PCL
 用紙トレイ
```

参照

・ PCL のモードメニュー項目：「2 PCL モードの設定」(P. 14)

1.2 フォントについて

ここでは、PCL エミュレーションから使用できるフォントについて説明します。

使用できるフォント

PCL エミュレーションでは、以下のフォントが使用できます。

補足
- 本機では、PCL5 フォントを内蔵増設ハードディスク（オプション）にダウンロードして使用することもできます。

参照
- 使用できるフォントと、その印字見本は、[PCL フォントリスト] で確認できます。[PCL フォントリスト] については、「2.3 PCL モードのリストについて」(P. 20) を参照してください。

アウトラインフォント

欧文

- CG Times
- CG Times Italic
- CG Times Bold
- CG Times Bold Italic
- Univers Medium
- Univers Medium Italic
- Univers Bold
- Univers Bold Italic
- Univers Medium Condensed
- Univers Medium Condensed Italic
- Univers Bold Condensed
- Univers Bold Condensed Italic
- Antique Olive
- Antique Olive Italic
- Antique Olive Bold
- CG Omega
- CG Omega Italic
- CG Omega Bold
- CG Omega Bold Italic
- Garamond Antiqua
- Garamond Kursiv
- Garamond Halbfett
- Garamond Kursiv Halbfett
- Courier
- Courier Italic
- Letter Gothic
- Leter Gothic Italic
- Letter Gothic Bold
- Albertus Medium
- Albertus Extra Bold
- Clarendon Condensed
- Coronet
- Marigold
- Arial
- Arial Italic
- Arial Bold
- Arial Bold Italic
- Times New
- Times New Italic
- Times New Bold
- Times New Bold Italic
- Symbol
- Wingdings
- Times Roman
- Times Italic
- Times Bold
- Times Bold Italic
- Helvetica
- Helvetica Oblique
- Helvetica Bold

- Courier Bold
- Courier Bold Italic
- CourierPS Oblique
- CourierPS Bold
- CourierPS Bold Oblique
- SymbolPS
- Palatino Roman
- Palatino Italic
- Palatino Bold
- Palatino Bold Italic
- ITC Bookman Light
- ITC Bookman Light Italic
- ITC Bookman Demi
- ITC Bookman Demi Italic
- Helvetica Narrow
- Helvetica Narrow Oblique
- Helvetica Bold Oblique
- CourierPS
- Helvetica Narrow Bold
- Helvetica Narrow Bold Oblique
- New Century Schoolbook Roman
- New Century Schoolbook Italic
- New Century Schoolbook Bold
- New Century Schoolbook Bold Italic
- ITC Avant Garde Book
- ITC Avant Garde Book Oblique
- ITC Avant Garde Demi
- ITC Avant Garde Demi Oblique
- ITC Zapf Chancery Medium Italic
- ITC Zapf Dingbats
- OCR-B

ビットマップフォント

- Line Printer

1.3　排出機能について

排出機能について説明します。排出機能には、次の 2 種類があります。

・ 残ったデータを強制排出する場合
・ プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

残ったデータを強制排出する場合

PCL エミュレーションモードでは、1 ページ分のデータがすべてそろうまで、データは排出されません。パラレルインターフェイス（オプション）、USB インターフェイスの場合、データの最後がページの途中で終了してしまうと、［自動排出時間］で設定されている時間が経過するまで、次のデータ待ちになります。ディスプレイには［データ待ちです］が表示されます。

強制排出は、このようなときに、自動排出時間を待たないで、プリンター内のデータを強制的に印刷する操作です。

操作手順は、次のとおりです。

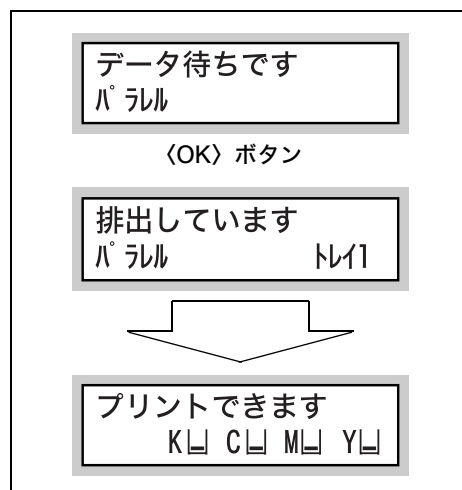
補足
・ ディスプレイに［データ待ちです］が表示されている場合、次のジョブを送信すると正常に印刷されないことがあります。次のジョブは、強制排出後、または自動排出時間が経過してから送信してください。

参照
・ 自動排出時間：『ユーザーズガイド』

1. ディスプレイに右図の［データ待ちです］が表示されている状態で、〈OK〉ボタンを押します。

   印刷が開始されます。

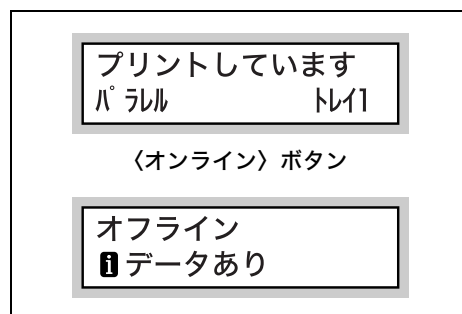
   印刷が終了すると、［プリントできます］が表示されます。

注記
・ 共通メニュー項目の［プリントモード指定］が［自動］の場合、［データ待ちです］と表示されないため、強制排出できません。

プリンター内のすべてのジョブを排出する場合

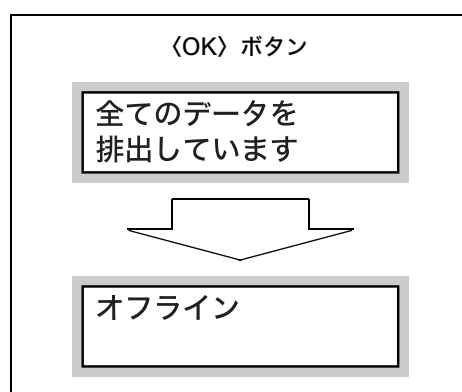
プリンターが受信している、すべてのジョブを印刷します。

この操作で、データの受信を中断し、バッファを空の状態にできます。操作手順は、次のとおりです。

1. ディスプレイに右図の［プリントしています］が表示されている状態で、〈オンライン〉ボタンを押します。

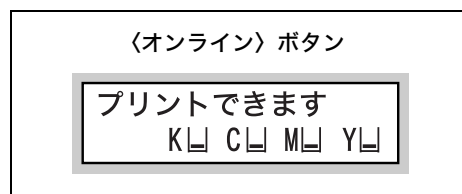
補足
・〈オンライン〉ボタンを押すと、プリンターはデータを受信できない状態になります。

2. 〈OK〉ボタンを押します。
   印刷が開始されます。

   すべてのジョブの印刷が終了すると、[オフライン］が表示されます。

補足
・ パラレルインターフェイス、USBインターフェイスを使用している場合、手順1の〈オンライン〉ボタンを押すタイミングによって、データ受信がジョブの途中になることがあります。
  この場合、それ以降のデータは〈OK〉ボタンを押したあと、新しいジョブとして認識されます。手順3のオフライン解除後、新しいジョブとして処理されます。

3. 〈オンライン〉ボタンを押します。
   ［プリントできます］が表示されます。

〈オンライン〉ボタン

プリントできます
K␣ C␣ M␣ Y␣

補足
・［プリントできます］表示後、新しいジョブとして処理されるデータは、共通メニュー項目の［プリントモード指定］で［自動］が設定されている場合、正常に印刷されないことがあります。

1.4　エミュレーションモードでの印刷機能

PCL エミュレーションモードで使用できる、本機の印刷機能について説明します。

バーコード

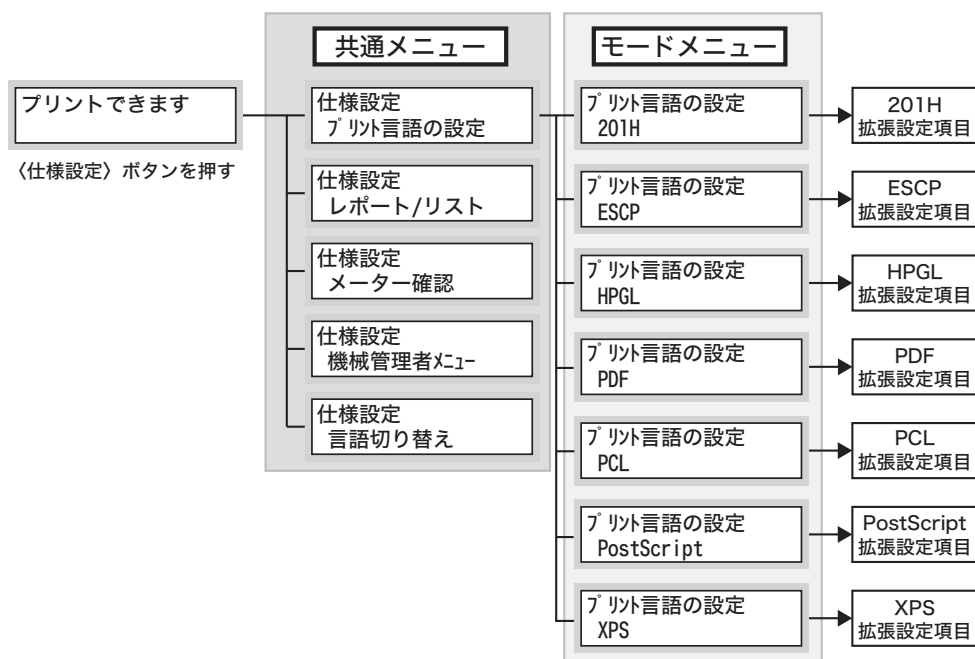
PCL エミュレーションモードでは、バーコードを利用できます。利用できるバーコード規格は、次のとおりです。

・ Code39
・ JAN-8
・ JAN-13
・ NW7 (CODEBAR)
・ Code 128
・ ITF (Interleaved 2 of 5)
・ Post(Japanese postal Customer Code)
・ QR Code®

2　PCL モードの設定

2.1　本機の仕様設定について

仕様設定には、エミュレーション関連を設定するモードメニューと、プリンターのそのほかの設定を行う共通メニューがあります。

補足
・モードメニューの［201H］［HPGL］［PCL］は、エミュレーションキット（オプション）またはPostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。
・モードメニューの［PostScript］は、PostScript ソフトウエアキット（オプション）を取り付けている場合に表示されます。

PCL に関連する共通メニュー

PCL に関連する共通メニューの設定項目について、説明します。

補足
・［パラレル］は、パラレルインターフェイスカード（オプション）を取り付けることで表示されます。

参照
・共通メニュー項目の詳細と操作方法：『ユーザーズガイド』

■ネットワーク / ポート設定

[機械管理者メニュー] ＞［ネットワーク / ポート設定］で、PCL エミュレーションモードで使用するポートの設定を行います。

・ポートの起動（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB/Port9100）
　PCL エミュレーションモードで使用するポートを起動します。

・プリントモード指定（パラレル /LPD/NetWare/SMB/IPP/USB/Port9100）
　各ポートのプリントモード指定を、PCL エミュレーションが使用できるように設定します。プリントモードとして［PCL］、または［自動］を選択します。初期値は、すべてのポートで［自動］です。

補足
・［プリントモード指定］では、ホスト装置から受信したデータの処理方法を設定します。ここで［PCL］を設定すると、「プリント言語の切り替え」(P. 8) で説明している「自動切り替え」は、できなくなります。

■初期化 / データ削除

・ PCL マクロ削除
［機械管理者メニュー］＞［フォーム / マクロの削除］＞［PCL マクロ削除］で、本機に登録されている PCL マクロをすべて削除します。登録されているマクロがない場合は、［マクロ登録はありません］と表示されます。

・ PCL フォント削除
［機械管理者メニュー］＞［フォント削除］＞［PCL フォント削除］で、本機に登録されている PCL フォントをすべて削除します。登録されているフォントがない場合は、［フォント登録はありません］と表示されます。

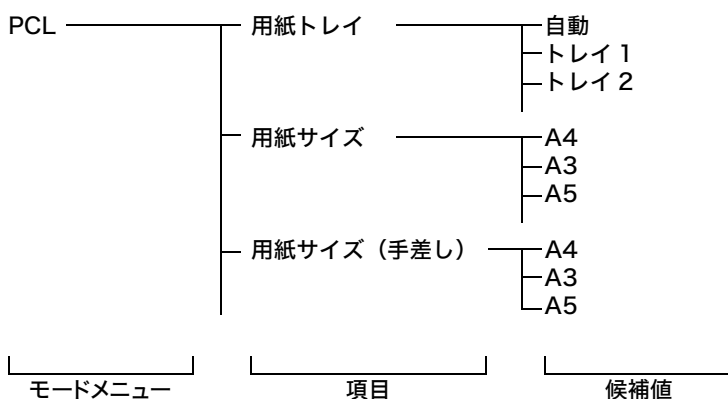
PCL モードメニューについて

PCL モードメニューは、PCL エミュレーション固有の設定をするためのメニューです。

モードメニューの設定内容を、印刷中に変更できます。この場合、変更された設定は、次のジョブから反映されます。

モードメニューは、次のような階層で構成されています。

・ モードメニュー＞項目＞候補値

補足
・ 項目は、項目 1、項目 2、項目 3 に分けられる場合があります。
（以降、特に断らないかぎり項目と呼びます。）

上記の図は、PCL モードメニューの階層の一部を表したものです。

参照
・ モードメニューで設定できる項目および操作：「2.2 PCL モードメニューの設定」(P. 16)

2.2 PCL モードメニューの設定

モードメニューで設定できる項目と、その設定方法について説明します。

PCL 設定項目一覧

PCL モードメニューで設定できる項目について説明します。

補足
- 装着されているオプション品によって、表示される候補値は異なります。詳しくは「モードメニュー一覧　DocuPrint C3350（PCL)」(P. 22) を参照してください。

プリント機能メニュー

用紙トレイ

印刷に使用する用紙トレイを設定します。

候補値は、次のとおりです。

［自動］（初期値）
［用紙サイズ］で設定した用紙がセットされている用紙トレイから自動給紙します。

［トレイ 1］

［トレイ 2］

［トレイ 3］

［トレイ 4］

［トレイ 5（手差し)］

補足
- ［自動］を選択した場合、同じサイズの用紙が同じ用紙方向で複数のトレイにセットされているときは、共通メニューで設定されているトレイの優先順位に従って給紙されます。
- ［トレイ 2］～［トレイ 4］は、オプショントレイが装着されている場合に表示されます。

用紙サイズ

印刷する用紙のサイズを設定します。

候補値は、次のとおりです。

［A4］（初期値）

［A3］［A5］［B4］［B5］

［8.5×11"］（レター）

［8.5×14"］（リーガル）

［11×17"］（タブロイド）

［定形外］

補足
- ［定形外］を選択した場合は、さらに［たて (Y) 方向のサイズ］、および［よこ (X) 方向のサイズ］をそれぞれ設定します。

用紙サイズ（手差し）

手差しトレイを使って印刷する用紙のサイズを設定します。

候補値は、次のとおりです。

［A4］（初期値）

［A3］［A5］［B4］［B5］

［はがき］［封筒長型 3］

［8.5×11"］（レター）

［8.5×13"］（フォリオ）

[8.5×14"]（リーガル）
[5.5 x 8.5"][7.25 x 10.5"]
[11x17"]（タブロイド）
[封筒モナーク][封筒 #10][封筒 DL][封筒 C5][定形外]

注記
- たて(Y)方向の上限は1200mmです。432mm以上を設定する場合は、よこ(X)297×たて(Y)900mmまたは、たて (Y)1200mm だけの設定にしてください。

補足
- [定形外] を選択した場合は、[たて (Y) 方向のサイズ]、および [よこ (X) 方向のサイズ] をそれぞれ設定します。

印刷方向

用紙の印刷方向を [たて]（初期値)、または [よこ] から選択します。

両面

両面印刷をするかしないかを、[する]、または [しない]（初期値）で設定します。

両面印刷を [する] に設定した場合は、とじ方向を [長辺とじ]（初期値)、または [短辺とじ] から選択できます。

補足
- [両面] は、お使いの機種に両面印刷モジュール (オプション）が装着されている場合に設定できます。
- [用紙サイズ] で [はがき] が選択されている場合は、[左右開き] と [上下開き] は選択できません。

フォント

使用するフォントを設定します。初期値は、[Courier] です。

シンボルセット

使用する記号用フォントを設定します。初期値は、[ROMAN-8] です。

フォントサイズ

フォントサイズを設定します。初期値は、[12.00] です。4.00 ～ 50.00pt の範囲で 0.25pt 刻みに設定できます。

フォントピッチ

文字間を設定します。初期値は、[10.00] です。6.00 ～ 24.00cpi の範囲で 0.01cpi 単位で設定できます。

フォームライン

フォームライン（1 フォームあたりの行数）を設定します。初期値は、[64] です。5 ～ 128 行の範囲で、1 行単位で設定できます。

部数

印刷する部数を、1 ～ 999 部の範囲で設定します。初期値は、[1 部] です。

ImageEnhancemet（イメージエンハンス）

イメージエンハンスとは、白黒の境めを滑らかにしてギザギザを減らし、疑似的に解像度を高める機能です。イメージエンハンスを行うかどうかを、[有効]（初期値)、または [無効] で設定します。

HexDump

HexDump は、コンピューターから受信したデータの内容を確認するため、印刷データを、16 進表記形式と対応する ASCII コードで印刷する機能です。HexDump での印刷をするかどうかを、[有効]（初期値)、または [無効] で設定します。

ドラフトモード

ドラフトモードでは、トナーを節約して印刷します。品質は低下しますが、高速で印刷できます。ドラフトモードでの印刷をするかどうかを、[有効]（初期値)、または［無効］で設定します。

カラーモード

カラーモードを［自動］（初期値)、[カラー]、または［白黒］から選択します。

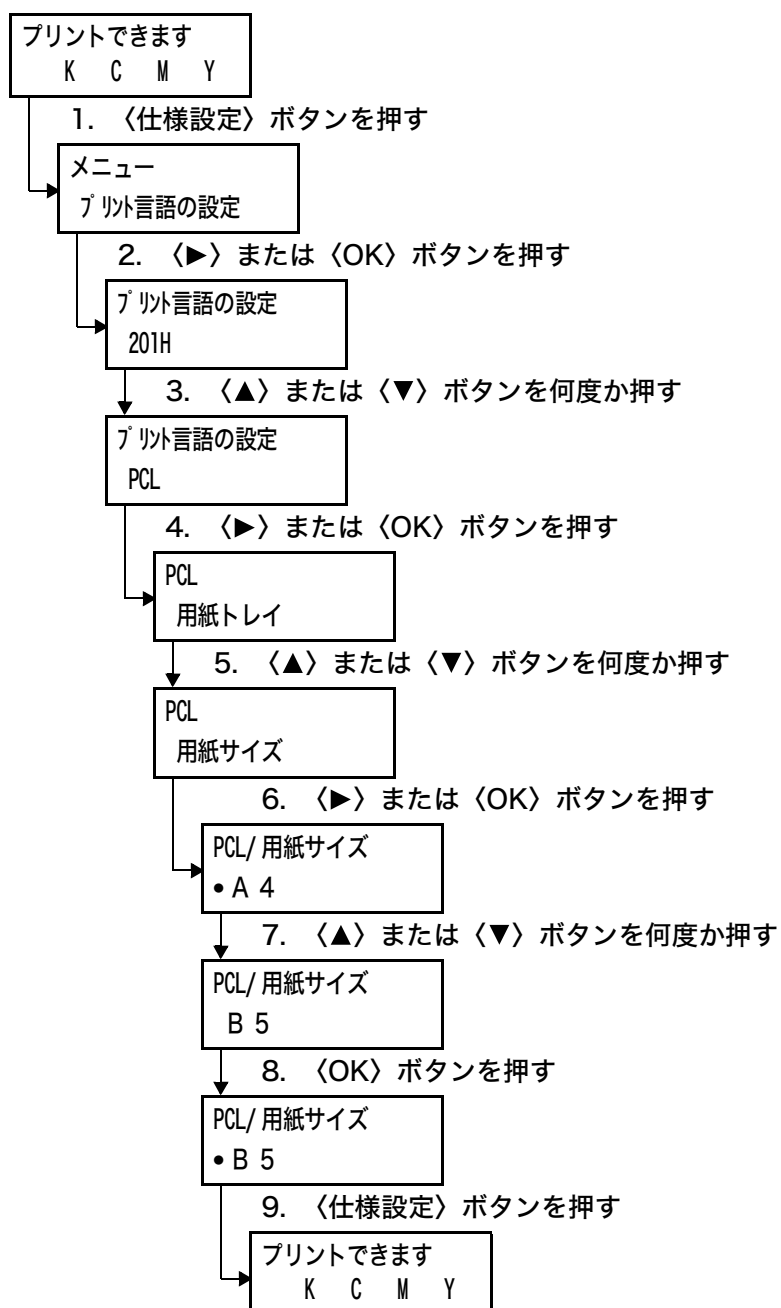
Line Termination

ラインターミネーションを設定します。行末コードとして、CR、LF、FF が使用されている場合の動作を設定します。

候補値とその動作は、次のとおりです。

設定値	CR の動作	LF の動作	FF の動作
しない（初期値）	CR	LF	FF
Add-LF	CR + LF	LF	FF
Add-CR	CR	CR + LF	CR + FF
CR-XX	CR+LF	CR+LF	CR+FF

PCL モードメニューの設定方法

モードメニューの設定方法について、PCL モードの用紙サイズを［B5］に設定する場合を例に説明します。

2.3 PCL モードのリストについて

PCL モードのリストについて説明します。

参照
・ その他のレポート / リストについては、『ユーザーズガイド』を参照してください。

PCL 設定リスト

PCL モードでの設定値を確認できます。

操作パネルで、［レポート / リスト］＞［プリント言語］＞［PCL 設定リスト］を選択し、印刷します。

PCL フォントリスト

PCL で使用できるフォントと、その印字見本を確認できます。

操作パネルで、［レポート / リスト］＞［PCL フォント リスト］を選択し、印刷します。

PCL マクロ登録リスト

本機の内蔵増設ハードディスク（オプション）にダウンロードされた、PCL マクロに関する情報が印刷されます。マクロ名、マクロ ID、バイト数が確認できます。

操作パネルで、［レポート / リスト］＞［プリント言語］＞［PCL マクロ リスト］を選択し、印刷します。

索引

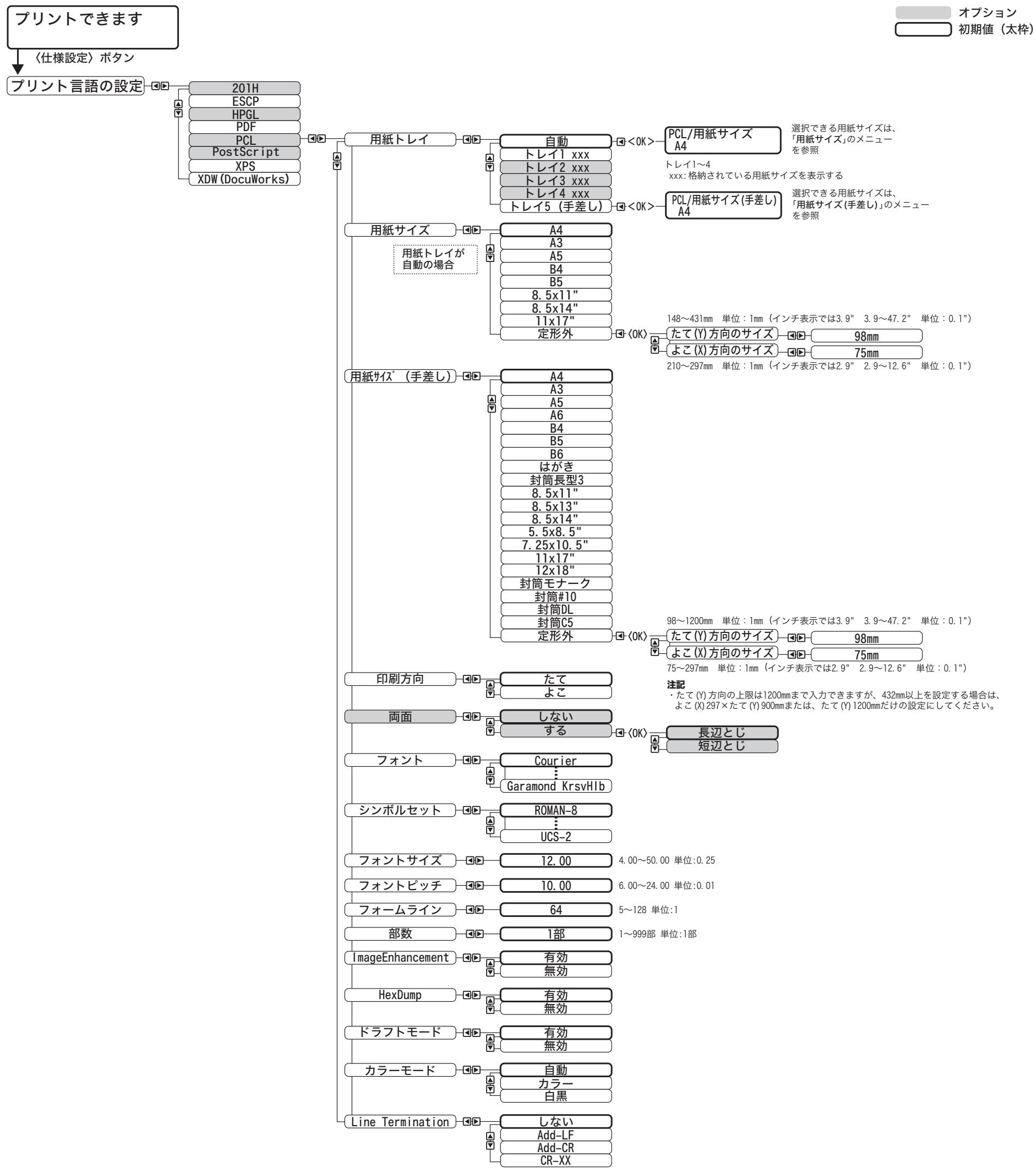
記号・英数

ア

カ

ハ

マ

モードメニュー一覧　DocuPrint C3350（PCL）

商品のお問い合わせ先について

● この商品の**保守、操作、修理**（内容、期間、費用）のお問い合わせ、および**消耗品**をご購入される場合は、商品に貼られている保守サポートの問い合わせ先カードの裏面に記載のあるテレフォンセンター、または商品センターにお問い合わせください。

表面

裏面

お問い合わせ先が不明の場合は、富士ゼロックスプリンターサポートデスクにお問い合わせください。（各アプリケーションの操作につきましては、各ソフトウエアメーカーの問い合わせ窓口にお問い合わせください。）

フリーダイヤル　**0120-66-2209**（フジゼロックス）　FAX：**0120-14-1046**

フリーダイヤル受付時間：土・日・祝日および弊社指定休業日を除く9時～17時30分

フリーダイヤルは、携帯電話・PHSおよび海外からはご利用いただけません。また、一部のIP電話からはつながらない場合があります。

お話の内容を正確に把握するため、また後に対応状況を確認するため、通話を録音させていただくことがあります。

本機を廃却する場合は、お買い上げいただいた富士ゼロックス、各販売会社の担当営業にお問い合わせいただき、お申し込みください。
担当営業が不明な場合には、プリンター回収センターで受付します。
TEL：0120-88-8641　　FAX：0120-22-6993
受付時間：9時～12時、13時～17時

弊社へのお問い合わせの際には、機種名と機械番号を確認させていただきます。
保守サポートの問い合わせ先カードの裏面の「機種」「機械No.」、もしくは商品の背面または側面の銀色のシールに記載されている「商品名」「商品コード」「SER#」を事前にご確認ください。

DocuPrint C3350

PCL エミュレーション設定ガイド

著作者 ― 富士ゼロックス株式会社
発行者 ― 富士ゼロックス株式会社

発行年月―2009 年 12 月　第 1 版

（管理 No: ME4655J1-1）